

=外国人招へい研究者(候補者)について=

「氏名」については、申請書情報（Web 入力項目）に入力した氏名と異なることのないよう注意して下さい。

氏名 (FAMILY)	(First)	(Middle)
【主な学歴(大学以降)】		
	学位	取得年
【主な職歴】		
【受賞履歴(受賞年)】 (注)フェローシップは含まない。()内に受賞年を記入すること		
【外国人招へい研究者が行っている研究の概要】		
【外国人招へい研究者の研究業績】 (代表的な著書、論文及びその発表誌、発表年月日を記入すること。合計10篇。)		

印刷中の場合はその旨明記下さい。

【来日に関する予備交渉の経過】(該当する項目にチェックすること。補足説明等があれば、自由に記載して良い。)

1. 候補者との関係

- 直接の面識がある。
 - 現在、継続的に共同研究を行っている。
 - 以前、共同研究を行ったことがある。
 - 研究室訪問、学会、シンポジウム等で知り合った。
 - その他()
- 直接の面識はない。
 - メール等で継続的に研究成果等のやり取りをしている。
 - 共同研究者等から紹介された。
 - 申請者が候補者の研究を知り、連絡を取った。
 - 候補者が申請者の研究を知り、連絡を取ってきた。
 - その他()

(補足説明)

2. 招へい計画に関する事前交渉の状況

- 十分行われている。
- ある程度行われている。
- これから行う予定。

(補足説明)

3. 過去の来日歴(来日年、来日目的等)

過去5年間に採択された学振の国際交流事業と今回の申請に密接な関係がある場合、補足説明欄にその旨を明記すること。

記入例：

- ・直接の面識は無いが、二国間交流事業を通じて親しくなった研究者から優秀な研究者がいると強い推薦を受けた
- ・過去にも招へい事業を利用して共同研究を行ったが、引き続き研究を行うことにより多くの学術的成果が見込まれる
- ・学振助成による派遣事業により当該分野の学会で知り合ったことをきっかけに、日本での共同研究を行うという話に発展した

【申請者(氏名)が行っている研究の概要と招へい研究者との関連】

=招へい計画について=

【外国人招へい研究者の来日中の行動日程(研究が主として行われる研究機関及び訪問先等での研究討議・意見交換に関する具体的内容及び講義・講演等の具体的計画)】

【この招へいによる我が国及び諸外国における学術の進展への寄与】

【外国人招へい研究者の受入体制】(該当するものにチェックすること)

1. 外国人招へい研究者に与える身分又は名称等 ()
2. 図書館等の機関内施設の便宜を 与えない、与える
3. 研究室内で場所を与えることが できない、できる
4. その他機関内での処遇便宜供与 ない、 ある ()

【宿泊施設の見通し】

- ない
ある ()